

◎ 家庭科部門（小）

1 行事及び内容

（１）研究委員会

①第１回研究委員会 令和４年６月１７日（金）

- ・令和４年度の事業計画
- ・家庭科部門研修会について

②第２回研究委員会 令和５年２月１０日（金）

- ・家庭科部門研修会の成果と課題
- ・年間反省と来年度への方向づけ

（２）本年度の研修について

○天草教育研究所家庭科部門研修会

令和４年８月２日（火） ９：３０～１２：００ 本渡北地区コミュニティセンター

研究テーマ 「家庭科の授業力向上をめざして」

研修内容 ①講話・実技研修 「おいしいだしの取り方」
②研究協議「自校における家庭科授業の実践及び課題について」

講 師 元小学校栄養教諭 富安 美幸 先生

参加人員 １４名



【富安先生にこのはらわたの取り方を教えていただきました】



【自分たちでとっただしを飲み比べます】



【日頃の授業実践や悩みを伝え合いました】

2 成果と課題

○講師である富安先生が、栄養教諭として勤めてこられた経験を活かして家庭科の教科書には載っていない食材や調理方法の豆知識を受講者にお話くださり、今後の家庭科の授業実践への意欲を高めることができた。

○後半の研究協議では、前半の実技研修について富安先生に熱心に質問をする受講者もいた。また、調理に関する内容だけでなく、研究員から簡単にできる小物づくりの実践例も紹介され、受講者にとって実りの多い時間となった。

○男性が３名参加し、和気あいあいとした雰囲気の中で実技研修を進めることができた。また、実技研修だけでなく、情報交換や親睦も深めることができた。

▲今回は、コロナ禍の影響でだしをとることだけに絞って実施したが、５年生の調理実習教材であるごはんとみそ汁作りを実際に講師の先生の指導の下、やってみることで手順の指導などより深めることができたかもしれない。